

県民のみなさまへ

国連のグテーレス事務総長は3月31日、世界で感染拡大の止まらない新型コロナウイルスの影響について「第2次世界大戦以降で最も困難な危機だ」との認識を示し、各国が抑え込みに向けて連帯するよう訴えました。この得体の知れない未知のウイルスは世界中の人々を恐怖と不安に落とし入れ、ついには世界中の多くの中心都市から人影が消え去りました。静かになった街の周辺の住宅街から大切な人を亡くした多くの家族の悲痛な叫び声が聞こえてくるようです。そして最愛の子や孫が感染源となる悲劇。残された家族の自責の念が消えるには多くの時間と癒しが必要となるでしょう。

医療関係者はこの歴史的難局においても逃げ出すことなく崇高な志を胸にその役割を全うせんと家族の犠牲や命の危険も顧みず恐怖の殺人ウイルスに立ち向かっています。そのような中、連日の報道には国民あげての様々な工夫や努力が所々に垣間見えますが、残念なことにその一部について耳を疑う内容も毎日のように飛び込んできます。緊急事態宣言が出されても、若いから例え感染しても軽症で済むと笑いながらインタビューに答える人々、感染拡大地域から他県に抜け出しリスクを広める人々、偽造品を法外な値段で販売する企業や個人、風評被害をおおることを楽しむ人々等々、職責とはいえ命を投げ出し人の命にまっすぐに向き合う医療関係者との意識のあまりの隔たりに失望感を覚える瞬間も少なくありません。更に拍車をかけるのが医療機関や医療関係者への差別や偏見です。医療関係者は常に感染のリスクにさらされながらも専門職としての使命感で戦い続ける覚悟でいます。しかし、同時に家族まで含めて感染源扱いされる危険性をはらんでいるのです。安易な考えや思い込みにより医療関係者の活動を妨げたり、傷つけたりすることは絶対にあってはならないことだと思います。周りで見かけたら是非、「大変ですね」「お疲れ様」とねぎらってあげてください。何もありません。それだけで頑張れるのです。国内では長年にわたり医師・看護師不足が深刻な問題となってまいりました。限りある医療スタッフを生かし、その仕事の重要性を国民全員が再認識することで次世代を担う子供達も自ずとその道に向かってくれると信じています。

民主主義国家において憲法によって自由が保障されている我が国は理想的国家の一つであることは私たち国民が実感していることだと思います。しかしそれによる負の産物がこのような局面で浮き彫りになることも事実のようです。政府が不要不急の外出を控えるように要請しても自由の意味を履き違え、平気で感染拡大のリスクを高める行動をしてしまいがちです。

医療関係者は職業柄、人々の生死に直面します。酸素マスクを装着しても呼吸苦にもがきながらも懸命に生きようとする患者さん、ついには力尽きて死にゆく患者さんを見るとまだ私たちにできることは無かったかと自問自答する毎日です。

私たちは逃げ出しません。落ち込んでいる暇もないのです。共にこの難局を乗り越えませんか。終息の見通しをつけるために出来る事に真剣に向き合いませんか。既に他人事ではなく自分の大切な家族を近いうちに無くすことも十分にあり得る状況となりました。秩序を守り、助け合うことでお互いを認め合い、総力戦の末、未知のウイルスの正体が暴かれ人類がそれを克服したとき、この国も更に高いステージにパラダイムシフトし、より住みやすい国家が形成されていることだと思います。

最後に、皆様方に医療関係者が今お願いしたいこと下記に示します。ご確認いただき共に戦っていただけるのであれば、医療関係者にとって何より励まし、そして勇気につながるに違いありません。

(お伝えしたいこと)

- ・新型コロナウイルスにより重症化し死亡する方は高齢者だけに限るものではないことを肝に銘じてください。苦しむのは自分です。
- ・感染拡大のスピードは思った以上に速いです。自分は大丈夫と思わないでください。細部にわたる感染予防の徹底をお願いします。

・外出したい気持ちがあるのは誰でも同じです、自分のためにも、愛する家族のためにも、そして他人のためにも、今は共に我慢しませんか。

・医師会では根拠に裏付けされた情報のみを共有しています。テレビやインターネットなどでは情報発信者により言い分が違ったりすることを感の鋭い皆様ならお気づきのことだと思います。不確かな情報は不安を増幅し心身の不調の原因になりかねません。

・PCR 検査については、検査そのものが感染のリスクになる場合もあります。また、検査をしても陽性でも陰性と判定される「偽陰性」となる確率が 30%以上もあるのです。検査ありきの判断は感染拡大の危険性を助長する場合がありますので最も注意が必要です。

・医療崩壊を招かないために、入院すべきか自宅療養すべきかなど厚生労働省と医師会は常に連携し、最善策を探っています。発信される最新の情報に基づき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

・多くの医療機関では院内感染を防ぐため室外で受付や問診するなど様々な対策を行い感染拡大を防ぐ取り組みを行っていますので、ご協力をお願いします。

・無責任な言動や行動による風評被害は医療機関ではなく医療機関を利用する患者さん方の頼り先がなくなるという最悪の結果を生じさせかねません。根拠のない噂話をしないこと、根拠のない噂話に耳を傾けないことを常に心がけ、行政などによる確かな情報に基づく冷静な行動をお願いします。

令和 2 年 4 月 22 日

始良地区医師会理事
鹿児島県医師会副会長
林 芳郎